

第244回研究科委員会・第352回教員会議・議事要録

日 時：令和5年4月12日（水） 12：50～13：10， 13：30～15：00

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

◆研究科委員会◆

冒頭、新しい理工学研究科の担当者3名（教授1名、准教授2名）の挨拶があった。

[審議事項]

1. 大学院設置準備室

（1）共生システム理工学研究科専攻長の専任に関する申合せの改正について
資料1に基づき説明があった。申合せの第3条2項について、任期途中での専攻長交替に対応した文言を追加したことが説明された。特に質問等はなく、提案通り承認された。

2. 入学試験委員会

（1）令和6年度入学試験の日程について
資料2に基づき説明があった。基本的に、今年度も昨年度と同様の日程で進めることが提案された。加えて、今年度の共通テストの説明会の日程が12月20日（水）の午後となる予定なので、日程確保をお願いしたいとのアナウンスがあった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 入学試験委員会

（1）令和5年度入学者数について
資料3に基づき大学院の入試統計について説明があった。今年度の入学者は、前期課程が50名、後期課程が7名である。

2. 教務委員会

（1）学生の休退学について
プロジェクター投影により研究科生について説明があった。過去を含めた傾向も併せて説明があり、特に例年と比較して多寡はない。前期課程の休学1、退学4、後期課程の休学2、退学0である。

3. 学生生活委員会

（1）令和4年度授業料未納による除籍について
資料4に基づき、これまでの対応についての説明後、最終的に6名（学類生3、研究科生3）が除籍となったことが報告された。

[その他]

1. 大学院の学修案内について

今年度から大学院が新しくなったことに伴い、全学共通で記載される部分がある。もし文章中に齟齬などあれば適宜修正したいので、教務課まで連絡してほしいとの依頼があった。

◆教員会議◆

冒頭、学類長から教授昇任の申請手続きについてアナウンスがあった。同一時期に昇任申請書を提出することが学長から言われているが、まだ提出日について連絡がない。学類人事委員会では年度始めに一括して募集することとしている。申請書の受付についてお知らせし、2～3週後に締め切る予定である。

[審議事項]

1. 学類長

(1) 名誉教授の称号授与について

今年度は1名が該当する。推薦調書について、回収資料に基づき該当者のこれまでの業績、社会活動、地域貢献活動について説明があった。以上により名誉教授にふさわしいとして推薦することとしたいと提案された。質問はなく、提案通り承認された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和6年度入学試験の日程について

資料2に基づき説明があった。今年度は、日程の関係で総合型選抜入試を9月30日(土)に実施する予定であることが従来とは異なる点であることが紹介された。その他については、研究科委員会にて報告済である。質問等はなく、提案通り承認された。

3. 教務委員会

(1) 非正規生(科目等履修生)の受入れについて

資料5に基づき説明があり、今年度は1名(博物館実習)の申請があったとのことである。質問はなく、提案通り承認された。

(2) 令和5年度非常勤講師計画について

資料6に基づき説明があり、例年通りの内容であるとのことである。質問はなく、提案通り承認された。

4. 将来構想検討委員会

(1) 共生システム理工学類の将来構想について

資料7に基づき説明があった。本資料は、4月5日に新旧メンバーを交えて確認したものである。既に昨年6月に方向性を示しているが、今年度はコース再編と基礎的カリキュラムの構築作業が重要なポイントである。学類の理念は変えない。現在の9コースから4つ程度へ再編し、人材像は新大学院のものをベースにするのがよい。加えて、大学院進学者を増やすしくみなどを検討したい。今年度半ばまでに方針を出したいと考えている。学類活性化のための動きとして、補正予算が2つ、概算要求事項1つが走っているが、これらは短期間で対応しないといけないので、学類執行部プラスアルファに加えてフロアの皆さんにも協力いただきたい。さらに、基礎科目の検討および入試に向けた検討については、今年中を目途に提案したい。再編に向けた広報活動も、今年後半から積極的に行う必要がある。最後に、全体の日程について説明し、令和7年度と8年度の2段階で対応したいとのことである。以上の説明に対し、A教授から、補正予算や概算要求の概要を提示(情報共有)してもらえるといいのではないか、との提案があった。学類長からは、これらの内容は概ね固まっているので、今回は出せなかったが、次回の教員会議には出したとの発言があった。B教授から、入試については総合型選抜に限らず後期の面接というのも大きく変わる部分なので、早めに検討してもらえると助かるとの発言があった。これに対し、学類長から検討のリミットを年内と考えており、その前の段階で入試委員会と相談しながら成案を得たいとの回答があった。C准教授から、数理AIと補正予算(高度情報)の関係があると思うが、前者は永続的にやると思う。後者の補正予算で教員を雇えたとすると任期はどうなるのか、との質問がだされた。学類長からは、ここは重要な論点であり、理工の学生定員増・教員増を要求するが、増えた分の学生定員と教員数については、10年以内に理工以外(文系)から減らすことになる。また、最長で10年間、実施総額で10億円の予算がつくが、すべてを人件費に充てるものではないにしても、そのまま教員は残ることになる、との回答があった。以上の議論を踏まえ、今後もこの方針に従って検討することが確認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和5年度各種委員会委員名簿について

資料8に基づき、評議員より説明があった。前回の教員会議で提示した内容から、3ページ目の赤字部分を一部修正した。これで確定したいとの発言があった。

2. 入学試験委員会

(1) 令和5年度入学者数について

資料9に基づき説明があった。今年度の入学者数は173名、編入6名であった。結果として超過せずに収まったとの報告があった。

3. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

プロジェクター投影資料に基づき、学類生の休学15名（研究室配属済み2、未配属13）、退学7名であることが報告された。例年比較してみると、今年より数が多い年と少ない年があるとの付言があった。

(2) 令和5年度からのコース所属について

資料10-1は再掲である。また、実際のコース所属リストが10-2にあるので確認してほしいとの発言があった。これで今年度のコース所属作業が完了したことが報告された。

(3) 令和5年度研究室配属ガイダンスについて

前日（4月11日）の「共生の科学Ⅲ」において、3年生に対して説明した。資料11-2の定員数は暫定であり、これから各分野長に依頼して受入れ増をお願いしたい、とのアナウンスがあった。教授から、昨年度の編入生と在学生の成績の違い（不公平感）が見られたので、そのようなことがないようにできないか、との質問があった。教務委員長から、今年度は難しいが次年度検討したい、との回答があった。

4. 基盤教育委員会

(1) 2023（令和5）年度非常勤講師計画（基盤教育科目）について

資料12に基づき説明があった。詳細については資料を確認してほしいとの発言があった。

(2) 2023（令和5）年度基盤教育科目授業一覧及び時間割について

資料13に基づき説明があり、こちらについても資料を確認してほしいとの発言があった。

5. 学生生活委員会

(1) 令和4年度授業料未納による除籍について

研究科委員会にて学類生も一緒に報告したので省略。

6. 自己評価委員会

(1) 新教育研究業績管理システム並びに2023年度教員評価の日程について

毎年この時期に教育研究業績管理システム入力について依頼している。今年はシステムが新しくなったので、スケジュールが全体的に1か月遅くなっている。入力は5月31日が締め切りとなっている。後ほど支援室から依頼のメールが送られるので確認してほしい。

7. 奨学寄附金の受入について

前回の教員会議以降、奨学寄附金4件、共同研究2件を受け入れたことが報告された。

[その他]

1. 育児休業法の改正と申出方法のご案内について

資料14に基づき説明があった。育児休業法の改正に伴い、育休制度が変更となったとのことである。

2. 配慮を必要とする学生について

1年生に2名おり、既に担当教員には周知されているが、配慮をお願いしたいとの発言があった。

3. その他

- ・保護者との懇談会について：4月4日（入学式）のときに実施し、140～150名の出席あった。出席した教員に対して謝意が示された。
- ・サイエンス屋台村について：これまでに研究・地域連携課から学類執行部に打診があり、さまざまな観点から検討した結果、今年は3年ぶりに開催することとした。8月12日（土）こむこむ館で実施予定である。世話役は教授1名、准教授1名にお願いし、快諾いただいた。この後、担当教授から各教員にお知らせがいくので積極的に対応してほしいとのアナウンスがあった。

◆教育研究評議会◆

○第396回（3月28日開催）報告

【審議事項】

（1）令和5年度福島大学運営計画（案）について

【資料1】 について説明があった。運営計画の策定について、学類・研究科ごとに作成する内容について説明があった。4月以降に公表予定である。

（2）「福島大学における新しい教員評価制度について」の一部改正について

【資料2】 について、教員評価マニュアルの一部改正を行ったこと、改正概要について説明があった。資料2-1が改正されたマニュアルである。また、評価基準についても変更があることが説明された。

（3）学内諸規則等の制定について

【資料3】 に基づき、学則の改正について説明があった。主に大学院の再編による改正である。

（4）学長選考・監察会議委員の選出について

【資料12】 について説明があった。複数の教育研究評議員の交代により委員の選出しなおしが必要であること、委員は従前通り各学類長とすることが説明された。

【報告事項】

（1）学内諸規則等の制定について

【資料4】 について、納付金の変更があったことが報告された。

（2）大学院の改革について

【資料5】 について、昨年度までの一連の改革について報告された。加えて、各研究科の定員充足状況などについても報告された。

（3）就業規則の制定等について

【資料6】 について、いくつかの規則が制定されたことが報告された。

（4）労使協定の締結について

【資料7】 について、主に附属学校の就業についての協定締結について報告された。

（5）令和4年度期末監事監査実施計画について

【資料8】 について、今年度の実施計画の提案があり、5月に各学類のヒアリングが予定されていることが報告された。

（6）福島大学と公立大学法人前橋工科大学とのクロスアポイントメント制度に関する協定書の締結について（新規）

【資料9】 について、経済経営学類の准教授に関しての協定締結であるとの報告があった。

（7）経営協議会学外委員について

【資料10】 について、2名が退任し、新規の就任1名は決定、1名について調整中であることが報告された。

（8）「福島大学の新しい教育制度2023」について

【資料13】 のとおり資料をとりまとめたので、詳細は各自確認してほしいとの説明があった。

（9）令和5年度予算配分（案）について

【資料14】 について、光熱費の高騰や人事院勧告もあり、支出予算は昨年度より27%削減することが報告された。

（10）令和5年度学長裁量経費（ミッション実現対応経費）等の配分について

【資料15】について、学長裁量経費も予算削減対象となっていることが報告された。

(11) その他

①来年度の会議スケジュールについて

【資料11】のとおりであるが、いくつかの会議日程が変更となっていることが報告された。

◆運営会議◆

○第185回（4月11日開催）報告

【報告事項】

(1) 令和5年度入学者選抜実施結果について

【資料1】に基づき、県内外別、男女別等のデータについて説明があった。理工学類は、県外出身者6割超、女性比率26%と上昇傾向にあるかもしれないとの説明があった。全学としては倍率が低くなっており、今後ACで分析する予定である。特に経済経営学類がほぼ1倍と低くなっている。

(2) 令和4年度入試広報実績について

【資料2】のとおり、オープンキャンパス、夢ナビ、大学説明会の実施、模擬授業、大学訪問、高校訪問、その他について昨年度実績の報告があった。また、大学案内はリニューアルする予定であることが付言された。

最後に学類長から今年度の予定についてアナウンスがあった。

以上